

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170401806		
法人名	株式会社 ウエルネスヒューマンケア		
事業所名	グループホーム ウエルネスこすもす		
所在地	札幌市手稲区新発寒6条9丁目 4-3		
自己評価作成日	2014年10月20日	評価結果市町村受理日	平成26年12月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=0170401806-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 26 年 11 月 6 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人一人の意思を尊重し地域に根ざし笑顔でゆったりと1日1日穏やかに生活する様ご支援し 内部・外部研修や勉強会等でスタッフのスキルアップを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、バス停から徒歩5分程の閑静な住宅街に位置し、郵便局、銀行、スーパー、病院等が近くにあり、利便性に優れています。また、緑豊かな公園や河川にも近く、手稲の山々も見渡せ、四季折々の美しさが楽しめる恵まれた環境にあります。木の温もりを感じさせるログハウス風建物は二階建てで、各共有空間も広くゆったりとして開放感が有ります。開設から8年目を迎え、2ユニット体制のホームは、町内会に加入し、新年会やお祭り、運動会等の行事に利用者と共に参加して交流を深めています。更に、幼稚園や保育園との交流も重ね、利用者は餅つき大会に招かれたり、年2回訪問を受け、園児達の歌や遊戯に笑顔を綻ばせています。管理者、職員は、利用者の機能の回復や低下予防に効果を上げる為に、24時間生活変化シートや私の求めるかわり方シート等を活用して、きめ細かな介護計画を作成し、利用者の自信に繋がる自立支援に取り組んでいます。管理者、職員は丸丸となり看取りケアにも取り組み、家族の安心と信頼に繋げています。職員は、利用者が笑顔で楽しく穏やかに暮らせる様に支援しています。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	勉強会で理念についてとスタッフルームの壁に貼り意識付けをしている	平成21年に、改めて地域密着型サービスの役割・意義を踏まえた理念を全職員で協議し作りあげています。新人研修や勉強会の機会を捉えて、職員間で理念を確認し、共有を図る様に努めています。理念は、玄関やスタッフルームに掲示しています。	より分かり易い理念を作り上げているのですから、サービス提供場面で理念が反映されているかを日々職員全員で確認し合う機会を多く持つ事を期待します。理念を掘り下げ具体的なケアについて意識統一を図りながら、実践に繋げることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の一員として夏祭り等の行事に参加し、入居者様と回覧板を置きに行くなど交流を図っている	町内会に加入し、新年会やお祭り、運動会、お茶会、忘年会などの行事に利用者と共に参加しています。近隣の幼稚園や保育園とも交流を持ち、餅つき大会に招かれたり、年2回訪問を受け、園児達の歌や遊戯を楽しんでいます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議へのご参加のお知らせをし地域の施設の利用をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各階交互に行い報告と意見交換やご相談を頂ける時間を設け後日 ユニット会議等で話し合い向上に活かしている	運営推進会議は2ヵ月毎に開催していますが、今年度に限っては地域住民の参加が見られず、家族の参加も2名と固定化しており、より豊かなホームとして支援を得るには至っておりません。関心有るテーマやゲストを招くなど工夫し取り組んでいます。	タイムリーかつ関心を呼ぶテーマを工夫し取り組んでいるのですから、地域住民や家族に向けてもっと積極的に声かけを行い、多くの参加者招集に努め、サービス向上に活かす取り組みに期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者が行っている	市や区の担当者とは本社の部長と管理者が中心となり協力関係を築いています。事故報告書提出時にも窓口に向い、介護業務情報を受けたり、ホーム玄関施錠に関する相談にも指導を仰ぐなど協働が諮られています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠を今年の夏よりしている。身体拘束についてはスタッフ同士認識を持ち勉強会にも参加している。	職員は身体拘束の弊害について勉強会で学ぶ機会を得ています。外部研修にも参加し、情報を共有しています。独自のマニュアルを作成していますが、指定基準における禁止対象となる内容が記載されておらず、全職員が禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解するまでには至っておりません。	指定基準における禁止対象となる内容を盛り込んだマニュアルを整備し、定期的に学ぶ機会を持ち、全職員が身体拘束の弊害について正しく理解し、周知徹底を図る事を期待します。帰宅願望の徘徊事故の為に、日中でも玄関施錠する時間が有りますが、鍵を掛けない暮らしをサポート出来る様に、見守りの徹底を含めた取り組みを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修に参加しスタッフ間で注意を払っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者・スタッフは内外研修にて学ぶ機会を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前、その後もご家族様と相談やお話しする時間を持っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、訪問その他の際、時間を設け意見要望をお聞きできる時間を設けている	職員は家族の来訪時には話し易い雰囲気作りに努め、意見、要望などを聞き取り、介護計画や運営に反映させています。遠方の家族や来訪の少ない家族には、電話やFAXなどで詳細に情報を伝えながら、意見や要望の汲み取りに努めています。毎月発行の「こすもす便り」には写真を添付し、通信欄も設けて日々の状況を報告しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議、その他いつでも意見交換が出来るようにしており反映している	毎月のカンファレンスやユニット会議には本社の部長も参加して、直接職員の意見や要望、情報などを聞き取り運営に活かしています。収納スペース確保の為に、物置を設置したり、医師との連携不備を解決する為に、各ユニット専属の医師を確保するなど要望が反映されています。個人・グループ面談も年1回実施され、運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社員会議を月に1度行い本社部長も出席しそのた個々または2～3名でのグループ面談を行い整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人の力量や長所を把握し研修を行い向上に活かせるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社内交流や研修等を通じ交流を図っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15	8	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を築く事が出来る様傾聴をし関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御入居前やご来訪の際に近況報告と不安をお聞きしその解決策を考え関係を築ける様努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アンケートやご要望をお聞きし今必要な支援が出来る様に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の生活の場として今までの生活とのギャップを少しでもない生活が出来る様支援している		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご来訪の際に近況をお伝えしたりお便り等にてご連絡している		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族はもちろんご兄弟やご友人のご来訪やお便りのやり取り、昔の写真を見て昔葉話をしている	知人や友人の来訪の際には、お茶でもてなし居心地良く過ごせる支援に努めています。墓参りや自宅訪問、美容室、かかりつけ医への受診などの外出には、家族の協力を得ながら、継続の支援に取り組んでいます。遠方の方に手紙なども書き、関係が途切れない様に支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニット内はもちろん各階の交流を行える様支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	はがきのやり取りや都度ご相談に応じている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人のご希望を時には読み取り情報を収集し支援している	センター方式のアセスメントを基に、24時間生活変化シートや私の求めるかかわり方シートを活用して、情報収集に努め、職員間で共有しています。職員は利用者と関わりを長く持ち、表情や言葉から意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族より入居前、後にも把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	表情や行動を観察しスタッフ間で情報を共有している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	それぞれの意見や情報を共有しカンファレンスや随時意見交換をしている	利用者、家族の意向を踏まえ、アセスメントを基に各シートを活用しながら、毎月のカンファレンスでモニタリングを行っています。利用者の出来る事、出来ない事を確認し、全職員で話し合い検討しています。見直しは3ヵ月から6ヵ月で行い、状態変化時は随時見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメントはもちろんいろいろなシートを利用し活かし全員で考え意見交換をし活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	普段から情報収集し臨機応変に対応できるよう取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の公園、図書館や行事を通し支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常的に病院との連携を密にし情報共有するとともに相談しやすい関係が出来ている	協力医療機関とは24時間医療連携体制が整備され、月2回の往診と、週1回の訪問看護師によるバイタルチェックにて利用者の健康管理が行われています。歯科医の往診や歯科衛生士の訪問も受け支援しています。かかりつけ医への受診は原則家族が対応しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師や病院との連携はしていないがホーム側から両方に伝え日頃から情報を共有している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中HPに行き現状把握に努めてはいるものの対応に難しさを感じる事があるがホーム側からの情報や関係作りに努めていく姿勢に取り組んでいる		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今年初めて看取りに向かい支援しご入居段階から何度も話しあい取り組んできた。今後はこの経験を生かして行きたいと思っている	終末期は医療機関への移行対応で利用者、家族の了解を得ていましたが、今年初めて看取りを経験した事で、今後は利用者、家族のニーズを汲み取り体制の整備を検討しています。終末期に向けた対応指針も作成しましたが、今回の経験を基に見直しを図っています。	重度化や終末期のあり方について、職員間で話し合い、倫理観や質の向上を含めて意識統一を図る事を期待します。利用者や家族の意向を踏まえ、終末期における習得すべき知識や技術等の育成の為の研修を検討しているので、実現に向けた取り組みに期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	慌てない為にマニュアルにしたり連絡網を作成。研修などを行い取り組んでいる		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自主訓練やファザードマップを参考に準備している	避難訓練は消防署指導の下に、5月と10月に実施し、8月には自主訓練も行っていますが、地域住民の参加には至っておりません。職員はAEDの講習を受けています。飲料水、食料の災害時備蓄品も確保しています。スプリンクラーや自動通報装置も設置されています。	災害は予測不能であり、特に手薄となる夜間には地域住民の協力が欠かせない事を踏まえ、積極的に地域に働きかけ協力体制の強化を図る事を期待します。訓練も火災に加え、自然災害や停電など予期せぬ事態を想定した災害対策への取り組みにも期待します。簡易トイレや防寒着等、備蓄品の充実も期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に添った声掛けや対応をしている	本社主催の接遇マナー研修には職員全員が参加し、ケアサービスに活かしています。利用者一人ひとりのプライドを大切に、排泄の誘導もさり気なく羞恥心に配慮した言葉かけを行い、信頼関係を築いています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定して頂けるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決めつけた声掛けではなくご本人のご希望に添い時には見守り声掛けしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服を一緒に選んだり自己決定して頂ける様声掛けしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みを把握し積極的にお手伝いして頂ける様支援している	献立は食材納入社が作成していますが、栄養バランスが良くバラエティーに富んだ食事を提供しています。誕生日やクリスマス等の行事食では利用者の希望を取り入れ、手作りおやつには畑で収穫した芋を使う等、工夫を凝らし、食事が楽しくなる支援に努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量を把握し都度提供し状況に合わせ形状や盛り付けや器を変え支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと歯科衛生士さんの指導を受けている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の時間を把握し声掛けを行っている	排泄チェック表を活用しながら、個々の排泄パターンを掴み、トイレでの排泄に繋がる様な誘導や声かけを行い支援しています。現在はオムツ使用者も無く、布下着に戻ったケースも有り、利用者の力を活かしたケアに取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳やヨーグルトを利用したりサイクルの把握など一人一人に合わせた支援をしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の時間は大体決まっている	週2～3回の目安で入浴支援を行い、拒む利用者には無理強いせずに、タイミングや職員を変える等工夫し取り組んでいます。脱衣所の温度調整や浴槽の踏み台取り付け等、不安の無い入浴支援に取り組み、職員は利用者と1対1の触れ合いの中から思いの把握に努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムやペースに応じた休息や入眠できる様支援をしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カンファレンスや往診記録で常に情報共有し変化の観察行い業務日誌や支援記録の残し確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割を持ちハリのある生活をして頂けると共に気分転換や趣味の時間など一人一人に合わせた支援をしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気や自然に触れる機会やご家族様のご協力もあり気分転換の支援をしている	日常的には散歩や買い物、図書館に出かける等、利用者の希望に沿った個々の対応で外出を楽しんでいます。年間計画としては、初詣、花見、夏祭り、ドライブ、紅葉狩り等、家族の協力を頂きながら、外気に触れ気分転換を図っています。利用者、職員が一緒になり畑作業も楽しんでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様ご了承の元 洋服や下着など自ら選び購入できる機会を設けている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	塗り絵になって居るはがきやご自身の写真を送る等している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が感じられる様に入居者さん交え季節に添った飾りを作り楽しんでいる	ホームは木の温もりを感じるログハウス風の建物で、玄関入口は車椅子対応のスロープになっており、各ユニットもバリアフリー設計で暮らし易い工夫が施されています。リビングは床暖房で広く開放感が有り、窓から眺める手稲の山々の四季折々の美しさを楽しめます。壁には、手作りのカレンダーや季節に合わせた作品が飾られ、居心地良い空間になっております。回廊式の廊下を利用して、足腰強化の運動にも励んでいます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	暖かい日はベランダのベンチで会話されたり一人の時間も作るなどし気持ちに添った支援をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際はご本人が使用していた物を持って来ていただきそれ以外はご自分で選んで頂いている	各室にはクローゼットが設置され整理整頓し易く、壁に作られた棚には、手作りの作品や人形、花等が飾られ、インテリアの工夫も楽しめて、利用者それぞれが個性有る部屋に作り上げています。馴染みの家具も持ち込まれ、落ち着きと安らぎの有る空間になっています	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「今」出来る事をカンファ等で情報交換し個別支援をしている		